

今・未来

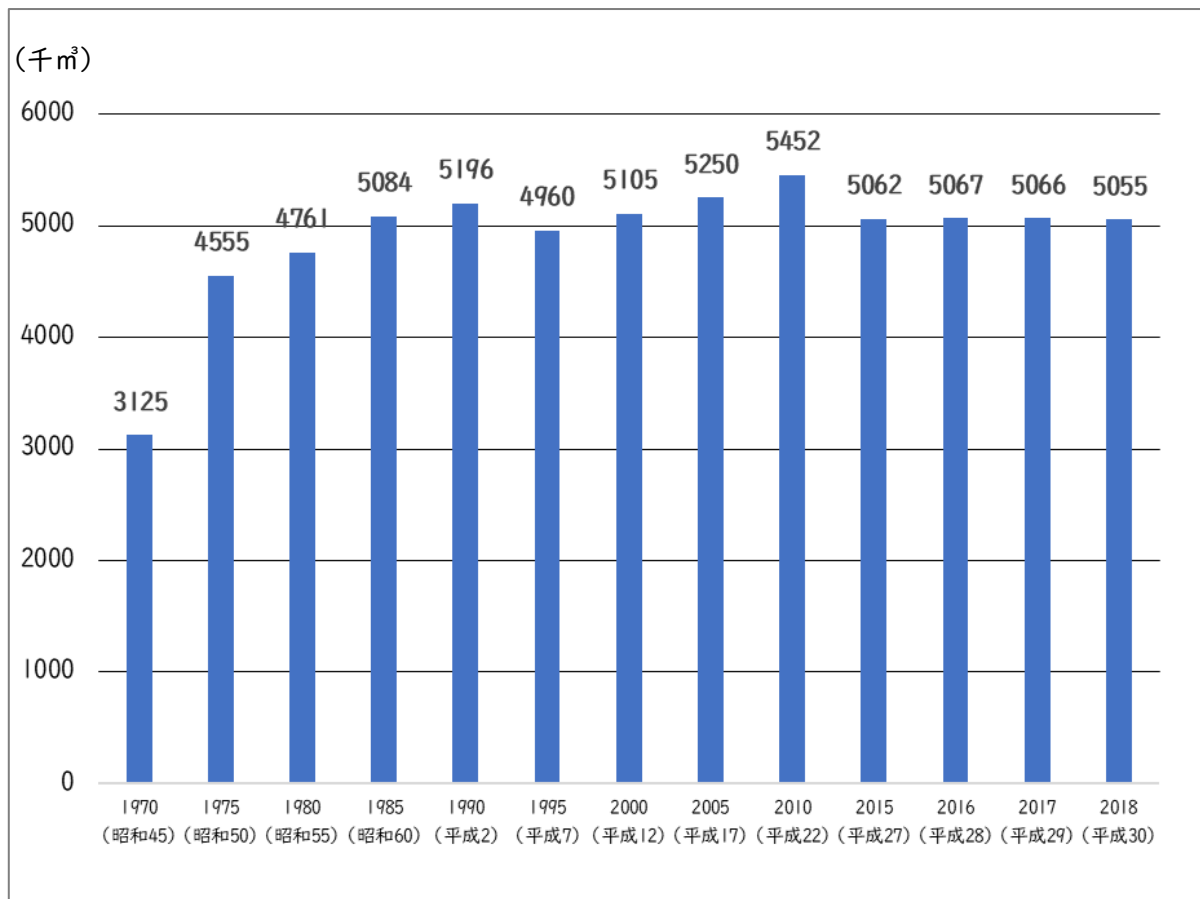
くらしと水

1 大切な水

わたしたちの生活にとって、水はなくてはならないものです。家庭で一人が一日に使う水の量は、バケツ約20杯分^{ばいぶん}（約200L）で、市全体では学校のプール約460杯分（約13万9千^m）になります。

また、工業用水（工場で使われる水）として一日に使われるプール約740杯分の水を合わせると、市全体では1日にプール約1200杯分が使われています。

※2018年度（平成30年度）の状況です。



〔市の水道使用量の移り変わり〕

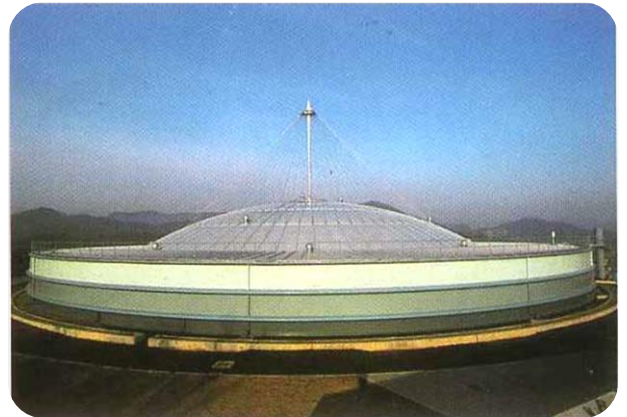
2 水道の水はどこから

わたしたちが使っている水は、主に三川ダム^{みかわ}や八田原ダム^{はったばら}にためられた水が、芦田川下流に流され、中津原・千田・出原浄水場^{いではらじょうすい}で取り入れられて、きれいな水にされた後、水道水として各家庭に送られています。その他にも、地下水をくみ上げ、きれいな水にして送られている地域もあります。

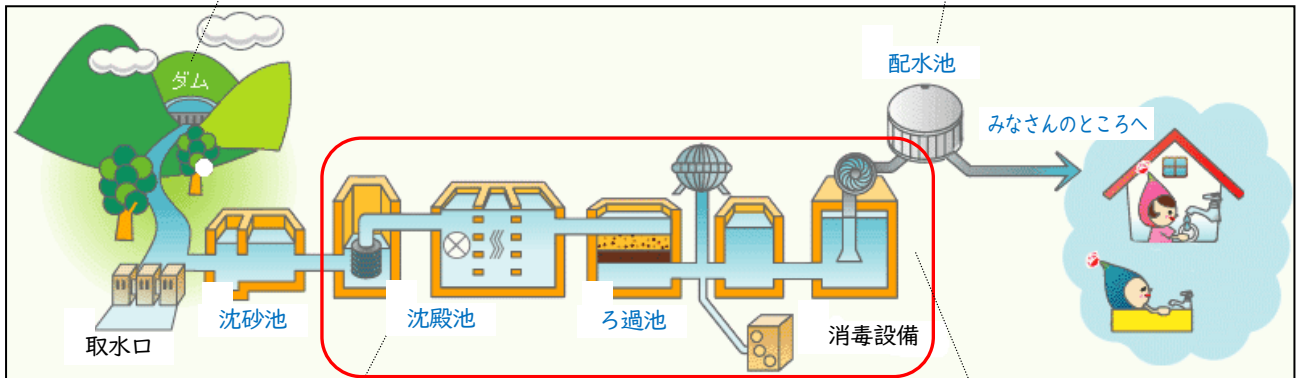
三川ダムや八田原ダムにためられた水は、福山市のほか、府中市などの地域で飲み水としてだけでなく、田や畑、工場で使うなど、いろいろなことに使われています。



〔八田原ダム〕



〔千田配水池〕



〔水道水が家庭に届けられるまで〕



〔中津原浄水場〕



〔千田浄水場〕



浄水場では、どうやって水をきれいになっているのかな。

3 使った水のゆくえ

家庭や学校・工場などから出される汚れた水が、そのまま流されると、川や海の水がどんどん汚れてしまいます。それを防ぐため、汚れた水を地下に埋まっている下水道管に流して、下水処理場に集めます。集められた汚れた水は、芦田川浄化センター・松永浄化センターできれいにされ、海に流されます。このような役割を果たしているのが下水道です。年々整備が進み今では、市民の10人のうち7人が下水道を使っています。

また、土地の低い所が多い地域では、大雨が降ると、水が地面にたまりやすく、時には、道や家にまであふれることがあります。下水道には、町に降った雨を海や川に流れるようにして被害が出ないようにする役割もあります。



〔下水道工事〕



〔合流式下水道管〕



〔下水処理場〕

下水道に関する仕事をしている人たちの話



わたしたちは下水道管を道路の下に埋める工事を行っています。家庭や工場などから流された汚れた水を自然の力で下水処理場まで届けるため、下水道管を緩やかな傾きにしています。この工事には高い技術が必要なので、慎重に進めています。



汚れた水をいつまでも近くの川や溝に流していたのでは、川や溝はきれいになりません。下水道管を道路の下に埋める市が行う工事が終わったら、各家庭や工場などでは、トイレの水や汚れた水を下水道管に流すための接続工事をしてください。



台風や大雨のときは、水路から水があふれ、道や家が浸かっているか心配です。真夜中でもポンプ場の運転管理をするので大変ですが、みんなの暮らしを守るためにがんばっています。

わたしたちは、普段当たり前のように水を使っているけれど、これからも、きれいな水を使い続けられるのかな。

